

芦屋市環境処理センター運営協議会(8/24)からの意見等

| 項目 | 意見等 | 対応・考え方 |
|---|---|--|
| 安全衛生管理計画 | <p>爆発対策に関する計画内容からみて、低速及び高速の破砕機を設置することを考えているようであるが、当処理センターは住宅地に近く、高速破砕機の使用に伴い爆音や衝撃波の影響が想定される。</p> <p>よって、高速破砕機は設置しないほうが良いと思う。検討してほしい。</p> | <p>施設整備基本計画検討委員会において、破砕機の種別(低速・高速)に関し、継続して検討を進めます。</p> |
| 環境計画 | <p>ごみ投入扉に関し、現在、投入扉4基・ダンピングボックス1基が設置されている。計画では、投入扉3基・ダンピングボックス1基となり全体で1基減少する。</p> <p>一方、ダンピングボックスを異物搬入物検査ボックスとして兼用するとの考えが示されており、ダンピングボックスの活用を見込むのであれば、投入扉3基・ダンピングボックス2基とするなど、全体基数は減少させる必要はないと思う。</p> | <p>異物搬入物の検査は、ごみピット前のステージの一部を利用し実施していることから、この方法も含め、ダンピングボックスに関する検討・整理を行います。</p> |
| | <p>パイプラインが廃止となれば、パッカー車によるごみ収集が始まりパッカー車台数は増加する。ごみ投入扉は1基減少するようであるが、ごみピットへの円滑な投入作業に支障は無いのか。</p> | <p>ごみ投入扉基数の設定は、パッカー車の台数ではなく、焼却施設の規模に基づいているため、ごみピットへの投入作業に支障は無く対応可能と考えています。</p> |
| | <p>一般持込時に荷下しを行う際、作業員による丁寧な対応が行われており、今後も継続してほしい。</p> | <p>一般持込時の作業・対応方法は、施設の配置計画とともに検討を行います。</p> |
| | <p>一般持込車両とパッカー車の通行が輻輳しているため、安全な動線を考えてほしい。</p> | <p>安全通行が可能となる動線を確保できるよう、施設の配置計画において検討を行います。</p> |
| <p>パッカー車の異物混入の確認について、今後、検査等を厳しくする考えはあるのか。</p> | <p>運営管理面において、確認方法に関する検討が必要であると認識しています。</p> | |

| | | |
|------|--|--|
| 環境計画 | <p>余熱利用設備に関する説明文として、“エネルギー効率の高い発電設備での有効利用として、場内の給湯等を検討します。”とあるが、余熱利用というのは、ボイラーから出る高圧蒸気でタービンを回すことであるため、説明文については再検討が必要と思う。</p> | <p>施設整備基本計画検討委員会において再検討を行います。</p> |
| その他 | <p>焼却施設の供用開始時期とパイプラインの廃止時期はどのようになっているのか。</p> | <p>焼却施設の供用開始は令和15年度、パイプラインは芦屋浜地区での運用期限を令和20年度末としています。なお、令和15年度からは芦屋浜地区の一部で代替収集の開始を予定しています。</p> |